



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ
2020～2021 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「集う」



◆会長 村瀬 祐治 ◆幹事 岡崎 壮男 ◆会報委員長 岩本 正樹 ◆会報担当 高木 純

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1255 回	58 名	57 名	47 名	—	82.46%
前々回 1253 回	58 名	57 名	45 名	3 名	84.21%

- 点 鐘
- ロータリーソング われらの生業
- ゲスト・ビジターの紹介

●会長の時間 会長 村瀬 祐治



本例会は会報/広報/雑誌/IT委員会担当例会です。卓話、「ロータリーの友について」2020-21 年度地区ロータリー友委員長二木公太郎さんと、2016-17 年度地区ロータリー友委員長清水幸平さん宜しくお願いいたします。

さて、11 月 8 日は名古屋にて米山記念奨学部門委員会が開催され次期世話クラブ事前説明会・奨学生との懇談米山ナイトに参加して参りました。本日は、地区米山記念の委員長をやめたから言えることをお話しします。この事業は、1952 年（昭和 27 年）米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたいと東京 RC が設立したのが始まりで、現在に至っております。海外から優秀な学生を招き勉学を支援する事業ですが、その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないため“平和日本”を世界に伝え世界平和に寄与したいとの願いがありました。

しかし、設立から 68 年余りたち事業を支えるロータリアンの考え方にも色々な考えがあり、また

意見を伺っております。

① 何故日本人学生を支援できないのか？ 苦学生が沢山いる。

米山奨学制度自体を替えなければならない。この事業は 34 地区のガバナーの意向によって決められたので ガバナーが意見を発し、米山理事が賛同すれば変更ができると思います。私は米山奨学会事業に意義を申し上げるのではなく、一部の奨学金を地区の裁量で日本の大学生にも支援できるようにと考えております。

② “奨学生は母国に帰り日本との懸け橋となってほしい” 事業の願いがありますが、奨学生の就職先はほとんどが関東・関西などの大都市の企業に就職して結婚しての日本に住む方が多い。

この願いをどのように考えたら良いのか、どのように寄付を頂くロータリーメンバーに説明したらよいのかが悩んでおりました。

③ 今や中国の GDP は日本の 3 倍近くになっており、中国留学生の両親はとても裕福な方が多くなり私たちが支援する必要があるのかと思っております。

先日の米山事業に一人の中国の奨学生はトヨタのプリウスに乗って米山事業に参加されておりました。私はホテル駐車場で見たととてもショックを受けました。奨学金は、奨学生の生活を支援するためにアルバイトをしなくてその時間を研究

などに使ってほしいとの願いがあると思います。また、米山記念制度には直接係わりがないのですが、国立大学に留学生枠が拡大して日本人の入学枠が少なくなり、日本人合格が少なくなっております。文部科学省(他関係5省庁)が少子化に共もない労働者不足を案じ、10年前から「留学生30万人計画」を打ち出し、各大学へ外国人の入学緩和政策を指示しております。(平成29年31万人超えている) 授業料の安い(国費で賄われている) 岐阜大学・三重大学・名古屋大学へ留学生が集中し、日本人が高い理念を持ち勉強したい方が入学難しい現状がある。

● **幹事報告** **幹事 岡崎 壮男**

◎国際ロータリー第2630
地区直前ガバナー事務所より
・事務所閉鎖のお知らせ



○高山ロータリークラブより
・例会変更のお知らせ

12月24日(木) 18:30~
忘年例会 八ツ三館

12月31日(木) 休会

○高山西ロータリークラブより
・例会変更のお知らせ

11月27日(金) 休会
12月4日(金) 5日(土) 9:00~

ハンドボール講習体験例会
飛騨高山ビックアリーナー

12月18日(金) → (土) 18:30~
クリスマス家族例会 花水木

○関中央ロータリークラブより
・事務所移転のお知らせ

新住所: 501-3217 関市下有知
1655-1 山田ビル1階D室

<高山市青少年育成市民会議より>

・「家族写真展&家庭の日図画ポスター展」
開催にかかる出役の依頼

<斐太バス(株)より>

・会社廃業のご挨拶

新社名: イルカ交通(株)

● **本日のプログラム**

会報/雑誌/IT委員会 委員長 岩本 正樹



皆さんこんにちは、会報/広報/雑誌/IT委員長の岩本です。会報/広報/雑誌/ITと十把一絡げのような委員会ですが新しく入ってこられた、会員の方々のために

それぞれの活動内容を簡単に紹介させていただきます。まず、会報は、例会ごとに例会の内容を会報誌として記録する委員会です。ここに出てスピーチされる際には忘れずに原稿の提出をお願いいたします。

広報は、新聞や市民時報、ラジオ等に活動内容の掲載や告知の依頼をしたり、年に一度高山3クラブ合同で市民時報にロータリー特集号を掲載しております。雑誌は一般社団法人ロータリーの友事務所が発行するロータリーの友、ガバナー事務所が発行するガバナー月信等を紹介したり読むことを奨励したりする委員会です。ITは当クラブのホームページの管理等を行っております。その中で、今日は雑誌委員会にスポットをあて、ロータリーの友について、二木さんと清水さんに卓話をいただきたいと思います。二木さんは今年度地区において、劔田ガバナーのもとでロータリーの友委員長を務めてみえ、又清水さんは第1次劔田ガバナーの下でロータリーの友委員長を務められました。お二人のお話を伺って少しでもロータリーの友について理解が深まれば幸いです。



〈卓話〉

「ロータリーの友」について

2020-21 年地区ロータリーの友委員長

二木 公太郎



「ロータリーの友」についてお話をさせていただきます。

2015-16 年度から国際ロータリー (R I) の特別月間が変更になりました。それに伴い、4 月の「雑誌月間」がなくな

ったため、ロータリーの友委員会ならびに同理事会では、あらためて「ロータリーの友」について考える時間をつくってくださいという思いで9月を「ロータリーの友月間」と決めました。9月の「ロータリーの友月間」と10月の「米山月間」が、日本独自の月間となります。戦後1地区だった日本のロータリーが2地区に分割されたのが1952年7月。その少し前、4月に大阪で開催された地区大会で、分割後の2地区が情報を共有できるようにと、雑誌の創刊が決まりました。その後、東西のロータリアンで協議した結果、1953年1月に『ロータリーの友』が創刊されました。創刊号の発行部数は、3,300部でした。最初は全ページ横組み(横書き)でスタートしましたが俳句や短歌の欄ができ、部分的に縦組み(縦書き)のページも混在するようになってきました。

現在のように、横組み(横書き)、縦組み(縦書き)と分かれるようになったのは、1972年1月号からです。現在は、国際ロータリー関連、ロータリー全体で力を入れている活動、特集などは横組み(横書き)、ロータリーの友の創刊目的を果たす内容のものは縦組み(縦書き)に掲載していません。日本の会員数の増加と共に発行部数は伸び、これまでで一番発行部数が多かったのは、1990年台後半の142,000部です。会員数が一番多いときでした。現在の発行部数は、約92,000部です。ロータリーの友は、国内のロータリアン同士を結ぶ懸け橋として創刊されましたが、1980年7月号か

ら、『ロータリーの友』は、国際ロータリー(R I)の公式地域雑誌としての役割を担うことになりました(1979年7月号から1年間の試験期間を経て)。その後、公的な呼び方が変わり、「ロータリー地域雑誌」となりました。現在、RIの認可を受けた地域雑誌は、ロータリーの機関雑誌として、各地域のロータリアンとRIを結ぶ役割を果たしています。そして、これらとRI本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌『ROTARY(元The Rotarian)』を合わせて、「Rotary Global Media Network」と称します。

(各雑誌の発行国、発行部数などは、『友』誌2020年9月号横組みP18~19に掲載) 国際ロータリーのブランディングの指針に基づき、7月号からロータリーの友の表紙にも、「Rotary」を入れることになりました。このため「ロータリーの友」という雑誌名が小さくなってしまいましたが、雑誌名は「ロータリーの友」のままです。

ロータリアンは、その地域で国際ロータリー(RI)から指定されているロータリー地域雑誌(日本の場合は『ロータリーの友』)または『The Rotarian』を購読する義務がありますが、ロータリー地域雑誌にもいくつかの義務があります。雑誌の内容の50%はロータリー、またはロータリー関連の記事であること、年に6回は発行され、24ページ以上であることなどです。7月号の表紙に新年度の国際ロータリー(R I)会長の写真を掲載することもその条件に含まれています。ロータリーの機関雑誌は、国際ロータリーから指定された記事を転載する義務もあります。『友』誌では「RI指定記事」と呼んでいますが、記事のタイトル周りにロゴを入れています。目次には「RI」だけのロゴを入れています。毎月掲載されるものとしては、RI会長メッセージ、財団管理委員長のメッセージ、次回行われる国際大会の案内があります。7月号では、RI会長の紹介記事、9月号か10月号には国際大会のプロモーション記事、3月は、RI会長エレクトの記事などがここ最近ではRIから指定されています。2020年の6月のRI理

事会で、『The Rotarian』の名称が、2021年1月号までに『ROTARY』に変更にすることが決定されていましたが、9月号から変更になりました。『ロータリーの友』では、RI指定記事以外にも、『ROTARY』の記事の中から、日本のロータリアンの関心に沿うような記事を掲載しています。毎月掲載している「ロータリープロジェクト アラウンド ザ グローブ (Rotary projects around the globe)」では、世界のロータリアンの活動の様子を伝えています。特別月間に関連した記事や、ロータリーが大切にしている活動の特集し掲載しています。

横組みが、国際ロータリーの方向性を意識した記事が中心である一方、縦組みは、投稿記事を中心に掲載しています。『ロータリーの友』が創刊された時の目的でもある、日本のロータリアンの中で情報を共有したいという気持ちを表わしているのが縦組みです。

「友愛の広場」、「私の一冊」、「アットワーク」などさまざまな投稿コーナーがあります。

今年度、2つの新企画が始まりました。一つは、漫画、「ポール・ハリスとロータリー」。ロータリーの創始者ポール・ハリスの生い立ちから、「決議23-34」が制定されるまでのストーリーを、1年にわたり連載します。ロータリーの友ウェブサイトでも、動画も掲載していますので、こちらも併せてご覧ください。表紙の下の二次元バーコードからスマートフォンでもご覧になれます。2つ目は「大人の着こなし図鑑」です。ロータリアンが着る機会の多いビジネススーツに改めて着目します。毎月、テーマを決めてビジネスファッションのミニ知識を紹介します。10月、4月には女性のビジネススーツを紹介します。

「ロータリーの友」に親しみましょう

2016-17年地区ロータリーの友委員長

清水 幸平



私は2016-17年度ロータリーの友地区代表委員を務めさせていただきました。地区代表委員は、年度ごとに日本の各地区を代表し、ガバナーの代理者

として『友』に関する任務を負っています。

具体的には、①地区内のクラブの情報を届けること②『友』を読み感想を報告すること③地区内の会員に『友』を購読することをお願いすることです。戦後1地区だった日本のロータリーが、1952年7月に2地区に分割されました。そこで分割後に2地区が情報を共有できるようにと、雑誌の創刊が決まりました。東西のロータリアンで協議した結果、1953年1月に「ロータリーの友」が創刊されました。これは当時『主婦の友』から取ったといわれています。その後1980年7月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリーの公式地域雑誌になりました。現在日本のロータリアンは、国際ロータリーから指定された『ロータリーの友』または『The Rotarian』を購読する義務があります。

「ロータリーの友」の記事は、横組みと縦組みとで構成されています。横組みは、『The Rotarian』の記事の中から指定された「RI指定記事」、特別月間の特集など、ロータリー地域雑誌としての公式的な記事を中心に掲載されています。ロータリーの学びの場とでも申しましょうか。それに対し、縦組みは、ロータリアンの交流の場です。いろいろな地区の活動報告や、ロータリアンの意見が投稿され、日本のロータリアンの懸け橋となる記事が掲載されています。

横組みの記事には、ロータリーの情報が満載です。自分で読むだけでなく、会員どうして意見を交わしてください。ロータリーの理解が深くなります。時事問題でもある例会の柔軟性についても、RI会

長メッセージなど大いに参考になります。また、「友愛の広場」「ロータリーネットワーク」等にも投稿して下さい。私たちの地区の記事は少ないようです。ぜひ投稿をお願いします。

ただ投稿に際して注意することがあります。写真については、集合写真、記念写真は掲載されません。活動の様子がよくわかる写真を、大きめのデータでお送りください。投稿規定の文字数を越えた長文は掲載されません。活動日から一か月以上経過した原稿は掲載されませんので、活動後速やかにロータリーの友事務所に原稿と写真をお送り下さい。

『ロータリーの友』には、ロータリーに関する様々な情報が掲載されています。
『ロータリーの友』を読み、
『ロータリーの友』を活用してください。
『ロータリーの友』は、ロータリアンの活動や意見からなる雑誌です。
奉仕活動をされたら『ロータリーの友』に原稿と写真をお送りください。
より良い『ロータリーの友』にするために皆さまのご協力をお願いいたします。



〈ニコニコBOX〉

本日は、会報/雑誌/広報/IT委員会の担当例会です。清水さん・二木さん卓話をよろしくお願ひ致します。
岩本 正樹

11/2 結婚記念日に花を頂きありがとうございます。また一年、首の皮一枚で繋がりそうです。誕生日に結婚式をしたことが仇となり、今では自分の誕生日も息をひそめている次第です。
高原 清人

先日は家内のバースデイのお花を頂きありがとうございました。
都竹 太志

10/30 結婚記念日、11/6 妻の誕生日、両日お花をありがとうございました。長いなが〜い年月健康であることに喜びを感じる毎日です。
平林 英一

昨日の「はぐるま会」お疲れ様でした。天候にも恵まれ楽しいゴルフでした。スコアは予定通り下位結果でした。これからは技術を磨いて対等に出来るように頑張ります。ありがとうございました。
住 裕治

昨日は、結婚記念日のお花をありがとうございました。また、「はぐるま会」に初めて参加し成績はハンデ通りでしたが楽しくプレーが出来ましたのでニコニコへ。
岡崎 壮男

やっとで歩けるようになりました。
劔田 廣喜

先日行われました「高山6クラブ親睦ゴルフコンペ」に急遽、劔田さんの代わりに参加させて頂きました。その際の登録料を劔田さんに受け取って頂けないのでニコニコへ。
今井 哲也

「ひだしん」のクラウドファンディングサイトFAAVO（ファーボ）飛騨高山で、“おうちで飛騨の味”と題し、椿屋さんのプロジェクトがスタートしました・当クラブ会員様には、是非一度ホームページをご覧頂きたくよろしくお願い致します。
大原 誠

三枝さん、岩本さん、賀寿おめでとうございました。コロナに注意して下さい。周 信夫

中動的にニコニコへ。
益田 大輔